

議事録確認書

令和元年 8 月 7 日

網走市新庁舎建設基本構想策定検討委員会
委員長 吉 田 穂 積 様

令和元年7月24日（水）に開催された「第2回網走市新庁舎建設基本構想策定検討委員会」の議事録について、内容に相違ないことを確認しましたので署名します。

網走市新庁舎建設基本構想策定検討委員会

署名委員 井 上 義 則



署名委員 岡 本 一 男



網走市新庁舎建設基本構想策定検討委員会

(第2回議事録)

開催日：令和元年7月24日(水)

時 間：午後4時00分～5時00分

場 所：オホーツク・文化交流センター

2階 大会議室

1 開 会

<出欠状況の報告>

(事務局)

- ・各団体の役職変更等による委嘱委員の変更
- ・網走市観光協会専務理事 井上範一委員から網走市観光協会専務理事 二宮直輝委員に変更。
- ・網走市社会福祉協議会会長 神内義光委員から網走市社会福祉協議会会長 鬼塚勝安委員に変更。
- ・連合北海道網走地区連合会会長代行 結城慎二委員から連合北海道網走地区連合会会長 橋本修平委員に変更。
- ・西網走漁業協同組合代表理事組合長 清野一幸委員と連合北海道網走地区連合会会長 橋本修平委員は欠席。
- ・北野貴丸委員は遅れて出席予定。
- ・大内俊郎委員と松井丈委員は確認中。
- ・網走市スポーツ協会会長 前田敏彦委員の代理として、網走市スポーツ協会副会長 多田吾郎氏が出席。
- ・網走市新庁舎建設基本構想策定検討委員会設置要綱第6条により半数以上の委員の出席が確認できたため、本会議は成立する。
- ・今回の委員会の議事録署名委員は、井上義則委員、岡本一男委員とする。

2 議 事

(1) 構想編部分のたたき台（案）について

(事務局)

- ・「はじめに」では、網走市新庁舎建設基本構想を策定する位置付けについて記載している。建設位置などを定める「構想編」と新庁舎に備える機能や規模など基本的な整備方針を整理する「計画編」を併せて策定すること、本検討委員会を設置し、検討・審議を重ねて「網走市新庁舎建設基本構想」を策定したことを記載している。
- ・2ページでは、参考として網走市のこれまでの耐震化対策などに係る検討経緯を記載している。
- ・「第1章 現庁舎の課題について」では、現庁舎が耐震基準を満たしていないこと、現庁舎の老朽化の状況、現庁舎の維持管理と保安について、現庁舎の課題解決に向けて「防災拠点機能の確保」「市民に対する行政サービスの向上」「ユニバーサルデザインへの対応」「職員の事務効率の向上」の4項目を記載している。
- ・「第2章 新庁舎の位置付けと役割について」では、1つ目は地方自治法や網走市の上位計画との整合性を図る旨について記載している。2つ目は新庁舎の役割ということで、市民サービスの向上、安全・安心への対応、社会・環境への配慮、まちづくりとの連携、セキュリティの確保の項目で記載している。
- ・「第3章 新庁舎の基本理念、基本方針について」では、現庁舎の課題や新庁舎の果たすべき役割をもとに、充実した市民サービスの提供と効率的な行政運営を目指して、新庁舎建設の基本理念を記載したいと考えている。
どのような基本理念にするかについては、本検討委員会で検討を重ね、構想編がかたまった時点で決定する予定である。また、基本方針としては、人にやさしく市民に親しまれる庁舎、防災拠点となる庁舎、環境にやさしい庁舎、まちづくりの拠点にふさわしい庁舎、効率的で情報化に対応できる庁舎の5項目を方針としてはどうかと考え記載している。
- ・第4章新庁舎の建設場所については、本検討委員会で協議したのち、次回の検討委員会で記載したものを提示する予定である。
- ・第1章から第3章までについては、次回の検討委員会までに資料を確認していただいた後に、文言等の追加及び修正を行いたい。

(小澤委員) 西庁舎の耐震性の判定結果の数値に幅があるのはなぜか？

(ドーコン) 判定結果の数値の幅については、各階で結果を出しているためであり、下の階が低く上の階が高い数値となっている。

(2) 新庁舎の建設場所について

(事務局)

- ・新庁舎建設に向けて、市としての考え方や方向性について市民の方に広く周知し、建設候補地についての意見や質問・要望を聞くための説明会を行っており、7月23日現在52箇所で開催し、約970名が参加。
- ・資料②-1は、7月12日現在の説明会でいただいた主な意見や質問及び市の考え方をまとめたもの。
- ・資料②-1の内容について説明。
- ・資料②-2は、すべての意見や質問及び市の考え方を記載したもので、次回の検討委員会までに確認していただきたい。

(黒田委員) 網走高校の跡地は候補地とはしなかったのか、現庁舎の跡地を整備して駐車場にはしないのか？

(網走市) 現庁舎は縦横50mの区画が2つ分であり、網走高校跡地はその半分しか敷地がなく、狭いことから候補地とはしなかった。

(黒田委員) 建物の構造が全く白紙の状態、土地だけの問題で議論をされているが、土地と建物の一体で議論をしないとイメージがわからないのが実情である。その中で、市の総合計画の目標のひとつに「ひとが集いにぎわいと活力を生むまち」とうたわれている。市が優先度として金市館ビル跡地が適地と判断したが、新聞等によると2008年から2017年までアプト4では43店舗が閉店あるいは廃業されており、20%くらい減少していることになる。果たして今のラルズ跡地を選考することで進んで良いのか、市ではどのような構想で適地と判断した基準があるのかお聞かせください。

(網走市) 市が現在提案している候補地を選定したのは、1点目に、市民にとって便利な立地なのか、あるいは少なくとも今より不便にならないかという点で、地方自治法に合致しているかどうか、さらに市の関連計画との整合性はどうか、2点目に災害拠点としての対応や機能が今よりも向上するかどうか、3点目に経費をかけずに早く建設できる方法・場所はどこかということを検討して提案している。

(黒田委員) 機能性の問題がかなり強調されている。例えば、バス会社や網走駅に近いということを盛んに言われているが、そこを強調してみると、高台地区、私は潮見に住んでいるが、潮見は利便性が悪いのか？と聞きたくなる。そうではなくて、利便性を良くするために、まちを作るために、庁舎を建てるために、どのようにしたらみんなが良いまちに住めるかを考えていくべきではないかと思っ

ている。交通の便が悪いというお話がかなり出るが、屁理屈かもしれないが、今の庁舎が建設された時は交通の便が良かったのか？お聞きしたい。しかし、そういうことではないと思っている。安全性を考えた時に、(説明会で出された)意見にもあるように防災という問題もかなりの重要なウエイトを占めているため、その点に重きを置いた中での土地の選定、あるいは構造物について考えるべきではないか？

(委員 長) 利便性をしっかり考えなければならないというご意見ですね。

(本間委員) 市役所は歩いて行ける場所が良いと思っている。まちなかの人口は、昔は店舗の中に住んでいたが、今はほとんど住んでいない状態にある。昼間人口は多くいると聞いているが、災害を考慮すると中心市街地に建設することが本当に良いのか疑問に思っている。人口が多い所、例えば潮見地区などに建設するべきではないか？また、コンパクトシティということで、いろいろな官公庁に近いと言っているが、どの施設も何年か後には老朽化で建て替えになる。それが現地で建て替えにならないのではないか？例えば庁舎が潮見地区に建設されれば、おのずとその近辺に移転するのではないかと思う。

(委員 長) 他の官庁施設との兼ね合いと、交通の利便性というご意見です。

(伴委員) 建設場所については、いろいろな意見があり、仰ったご意見もその通りだと思う。庁舎機能を各地区に建設できれば住民サービスとして1番良いかもしれない。さまざまな空洞化は、われわれのまちが直面している問題であるが、まち全体の中でどこに建設することが良いかを、議論の中に組み入れることが良いと考える。

(岡本委員) 能取から清浦まで、年に相当回数、農協の中央事務所に組合員が来られる。農協でも駐車場は手狭なため工夫している。周辺から市役所に来るためには、基本的には駐車場が重要である。信号が少なく、交通量が少なく、車で簡単に行けるところが良い。高台地区は人口が多いが、周辺住民のことから考えると、網走全体の中心に建設する方が良い。

(委員 長) 高台地区に多くの方が暮らしているが、網走全体で見たときに、その方々も活用しやすい場所ということも市役所としての大きな機能であるのご意見でした。他の行政機関との距離感についてはどう考えるか？

(小澤委員) 生活基盤としての新庁舎という考え方も当然であるが、今後の人口減少にどう対抗していくかを考えると、例えば観光という側面では、いかに外から人を呼ぶかということも含めて、周りとの関りということも検討材料の1つになると思う。

また、バスターミナルの建て替えを考えており、現段階では現状の場所に建て替える計画である。それは、現状の場所が交通拠点として網走の中心に位置していると考えられ、経費の点、路線の構築など総合的に考えて最適であると考えている。

そういったことも含めて庁舎の建設位置を考えていくべきと考える。

(委員長) 住民サービス以外にもさまざまなサービス拠点としての位置付けが庁舎の機能であると考えられる。多面的・総合的な面で考えるかどうか？

(水澤委員) 万が一の津波の時に、高台地区は津波被害の可能性は非常に少ないが、人命を第一に考えて、まちなかの人が避難できる場所として、まちなかに庁舎を建設するという発想が必要だと考える。

(井上委員) 中途半端な建て方には賛成できない。20年後、30年後の子どもたちに、すごいなって思われる庁舎を考えていく中で、障がい者や高齢者のために、狭い敷地ではなく、広い敷地で駐車場が広く取れるところを建設場所とした方が良い。

(加藤委員) 網走高校の跡地に建設する可能性はないか？風通しが良く、海も感じられ、山も見える。いろいろな人や教育の真ん中の地点だと思う。

また、庁舎がJR駅やバスターミナルから離れているまちは少ないと感じる。例えばJRの車窓から見えても、このまちはこのようにまちを組み立てているのだなど、まちが見える道路づくり、線路づくりを見ると、市が協力し合っている印象を受ける。

利便性が悪い場所を避けるのではなく、バス会社の方が委員にしている会議なのだから、利便性は良くするように議論できれば見えてくると思う。土地に固着すると議論が少なくなってしまうので、例えば庁舎の近くに車椅子の方も利用できる公園を整備すれば、子どもと公園を散歩しながら庁舎に手続きに行くなど、まちを発展する議論ができる会議なのではないかと思う。

(網走市) 旧網走高校を解体するにあたり、跡地は福祉関係の団体が利用することを前提としており、新庁舎建設候補地をリストアップする段階で決まっていたため、候補地から外れた。また、面積が狭いため、駐車場の確保が難しく、候補地から外した。

(委員長) 国の支援事業を使って早く建設したいという市の意向があるが、急ぐことはないという委員の考えもあり、それについてどう考えるか？

(岡本委員) この事業に乗らなければ新庁舎建設事業はできないと思う。ある程度の期限を決めた方が、混乱を招かず良いのではないかと？

(委員長) 市から提示があったスケジュールの中で検討委員会では決定をしていくという考え方ですすめていく。資料②と本委員会で出た意見を踏まえて、次回以降に建設場所について議論をすすめていきたい。

(委員) 了承。

(3) 次回の検討委員会開催について

- ・次回の検討委員会は8月30日(金)16:00～、9月4日(水)16:00～9月6日(金)18:00～を開催候補日とし事前に日程調整を行う。

(4) その他

(石川委員) 今後、このような説明会で出た意見について記載した資料は出てくるのか？

(網走市) 説明会で出た意見についてまとめたものを、「新庁舎建設」という市のホームページのサイトに紹介する予定。

(長井委員) 会議前に資料に目を通せるよう、事前に資料をいただきたい。

(網走市) 今後は事前に資料を渡せるよう準備をする。